

令和2年度
**気候変動
アクション
環境大臣表彰**

応募申請書記入にあたって

令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰
運営事務局

株式会社JTBCコミュニケーションデザイン

● 応募申請について



1. 申請方法について

- (1) 様式 1 から 2 - 3 までのすべてを、日本工業規格 **A 4 サイズで印刷し書類を郵送してください。**
- (2) (1) と併せて、**様式の電子ファイル (Excelファイル) を電子メールにて送付**してください。
- (3) グラフや図表等はモノクロでも判明できるように作成をお願いします。
- (4) 参考資料について
下記の事項をご確認の上、**応募申請書類と同封し、1 セットのみ郵送にて送付**してください。
※参考資料の電子メールでの送付は必要ありません。

<留意事項>

- ・参考資料に指定の様式はございません。**A 4 サイズ10枚 (両面20ページ分) 以内**に収めてください。
- ・冊子、パンフレットなどは該当箇所のみ A 4 サイズにコピーなどをしてお送りください。
- ・画像データ (CD-ROM、DVD-ROM等) は受け付けられません。
- ・応募申請書類への記載を省略し、「別紙参照」として添付資料で代替することは認められません。

※各種申請書の記入方法につきましては、詳細ページ (2～6 ページ) を必ずご一読ください。

2. 提出先について

<書類送付先>

令和 2 年度気候変動アクション環境大臣表彰 運営事務局
(株式会社JTBコミュニケーションデザイン コンベンション 1 局内)
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビル13階
担当：早川・内藤・角田 ※対応時間：10時～18時 (土・日・祝日を除く)

TEL : 03-5657-0833 / FAX : 03-3452-8526

<電子ファイル送付先>

E-mail : climateaction@jtbc.com.co.jp

※ 郵送での提出について

- ・封筒に「**令和 2 年度気候変動アクション環境大臣表彰 申込書在中**」と朱書きしてください。
- ・申込書の提出は必ず、郵送、宅配便など (特定記録郵便等配達記録が残る方法によること。) により送付してください。持参による提出はできません。

※ 電子メールでの提出について

- ・タイトルに「**[氏名または団体名] 令和 2 年度気候変動アクション環境大臣表彰 申込書**」と記載してください。

※郵送書類と電子ファイルの両方ともに、締切は令和 2 年 7 月 3 1 日 (水) <必着>となります。

※郵送と電子ファイルの送付をもって応募完了となりますので、ご注意ください



● 申請書類の記入について



1. 様式1（自薦の場合）

※令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰
応募申請書（自薦／様式）をダウンロードし、ご使用ください。

【名称について】

- ・必ず正式名称をご記入ください。
- ・活動主体が複数の場合は、代表となる団体・グループをご記入ください。

【押印について】

- ・企業の場合は、基本的には、代表者の印をお願いします。ただし、大きなグループ会社であったり、独立した工場や部署のご応募の場合は、そちらの代表の方の印でも構いません。
- ・団体印がない場合は個人印でも可です。

【日付について】

- ・記入した日付を入力してください。

【部門について】

- ・活動の軸となっているところと一番近い部門を選択してください。1つの活動について1部門のみの応募申請となります。ただし、選考委員会で応募申請された部門よりふさわしいと判断された部門での表彰もあり得ます。

【活動の名称について】

- ・応募する活動概要・事業概要を表すタイトルです。30字以内程度で端的にご記入ください。
- 過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受賞した取組みと、同一の活動あるいは功績での応募はできません。
- 判断が難しいようでしたら、取組みの内容を精査できる資料をお送りいただければ、検討いたします。

（注）それぞれの様式は必ず1ページ以内に納めるようお願いいたします。



● 申請書類の記入について



2. 様式1（他薦の場合）

※令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰
応募申請書（他薦／様式）をダウンロードし、ご使用ください。

①開発・製品化部門（緩和分野）

様式1（団体を推薦）

令和2年 月 日

①部門を選択してください

②団体or個人を選択してください

環境省地球環境局長 殿

（推薦者の）

住 所：
個 人 名：
又は、団 体 名
代表者名：

印
印

「令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰」への推薦について
令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領に基づき、

部 門 名： 開発・製品化部門（緩和分野）
団 体 名：
活動の名称：
を推薦します。

【名称について】

・必ず正式名称をご記入ください。

【押印について】

・他薦の場合の代表者印は、組織のご都合に合わせてお決めください。自治体の場合は、基本的には首長の方の印をお願いします。ただし、独立した部局内での推薦である場合などは、局長などの印でも構いません。

・企業の場合は、基本的には代表者の印をお願いします。ただし、大きなグループ会社であったり、独立した工場や部署のご応募の場合は、そちらの代表の方の印でも構いません。

【日付について】

・記入した日付を入力してください。

【部門について】

・活動の軸となっているところと一番近い部門を選択してください。1つの活動について1部門のみの応募申請となります。ただし、選考委員会で応募申請された部門よりふさわしいと判断された部門での表彰もあり得ます。

【活動の名称について】

・応募する活動概要・事業概要を表すタイトルです。30字以内程度で端的にご記入ください。
過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受賞した取組みと、同一の活動あるいは功績での応募はできません。
判断が難しいようでしたら、取組みの内容を精査できる資料をお送りいただければ、検討いたします。

（注）それぞれの様式は必ず1ページ以内に納めるようお願いします。



● 申請書類の記入について



3. 様式2-1 (自薦・他薦共通)

様式2-1

応募申請用紙

(整理番号: 1-)

部門名	開発・製品化部門 (緩和分野)	記入年月日	令和2年 月 日
活動の名称			
推薦者名	○推薦者情報は、他薦の場合のみご記入ください。 (自薦の場合は、記入不要です。あらかじめグレーに網かけされています。)		TEL: FAX:
推薦者の推薦理由	担当者名:		
○他薦の場合は推薦の理由をご記入ください。また、複数の団体等を推薦する場合、可能な範囲で優先順位を付してください。			
活動主体の概要 以下、他薦の場合は、可能な限り推薦を受ける方(活動の主体者)をご記入ください。			
団体名(代表者名)	○活動主体が複数の場合は列記のうえ、代表となる団体・グループの冒頭に◎印をつけてください。		
住所	〒		
TEL	FAX		
インターネット情報	○ウェブサイトやSNSで活動等が紹介されているものがあれば、URLをご記入ください。		
組織の設立年月日	○個人・団体が活動を始めた年月日をご記入ください。		
組織の事業又は活動概要	○個人・団体の活動概要をご記入ください。適宜、参考資料等を添付してください。		
記載内容に対する問い合わせ先	所属: 氏名:	連絡先 TEL: E-mail:	FAX:
表彰の対象となる応募活動のこれまでの受賞歴	○表彰の対象となる応募活動に対して、現在までに表彰されたことがある場合は、表彰主体・内容・時期等をご記入ください。		



● 申請書類の記入について

4. 様式2-2 (自薦・他薦共通)

様式2-2

(整理番号: 1 - 0)

表彰の対象となる応募活動の概要

表彰の対象となる応募活動の目的・ビジョン

○表彰の対象となる応募活動の目的・ビジョンをご記入ください。

<表彰の対象となる応募活動の概要>

気候変動対策の観点から表彰の対象となる応募活動の特色をできるだけ明確にご記入ください。
(令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領「6.選考基準等」に記載している観点を参考に特色をご記入ください。)

特に、他に同様の活動がある場合には相違点を明確にしてください。

③普及・促進部門(緩和分野、適応分野共通)に関しては、活動実績が概ね3年以上の継続性を有すること。

表彰の対象となる応募活動の内容、アプローチ(手法)

○表彰の対象となる応募活動の内容(普及活動の場合は参加人数、頻度など)等を具体的にご記入ください。
応募活動の実施にあたり補助による財政的支援等を受けた場合は、その当該助成団体及び助成額について下欄にご記入ください。また、適宜、参考資料を添付してください。

○複数の活動主体による応募活動の場合、それぞれが果たした役割について、活動の内容がわかるようにご記入ください。

<団体等の活動のうち、表彰の対象となる応募活動の内容をご記入ください>

開発・製品化部門	(緩和部門)	国内外の温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたことに関する功績を客観的な視点でご記入ください。
	(適応部門)	気候変動の影響による国内外の被害を回避又は低減する優れた技術の開発により、その製品化を進めたことに関する功績を客観的な視点でご記入ください。
先進導入・積極実践部門	(緩和部門)	国内外の温室効果ガスの排出を低減する技術等の大規模導入・先導的導入及び積極的な活用、地球温暖化防止に資するライフスタイルや等に関する積極的な実践に関する功績を客観的な視点でご記入ください。
	(適応部門)	気候変動の影響による被害を回避又は低減する優れた適応策の先進的導入及び積極的な実践、企業や地域等の気候変動への強靱性や持続可能性の向上を目的とした気候変動リスク分析及び適応策の導入における積極的かつ先進的な取組に関する功績を客観的な視点でご記入ください。
普及・促進部門	(緩和部分野・適応分野共通)	普及・促進活動や、教育・普及・啓発・持続可能な未来に向けた価値観、行動、ライフスタイルの変容等継続的な取組に関する功績を客観的な視点でご記入ください。

○○○○(西暦) / ○(月)の形で入力をお願いします。

応募活動に対する財政的支援等	助成団体の名称、補助金等の名称	助成額等	自至総額	年～年 円	(助成等の概要(補助率等含む))
応募活動の実施期間	2010/4/1	～	継続中		通算期間: 10年1ヶ月
団体/個人の活動期間	2010/4/1	～	継続中		通算期間: 10年1ヶ月

● 申請書類の記入について

5. 様式2-3 (自薦・他薦共通)

様式2-3

(整理番号: 1-0)

表彰の対象となる応募活動に関する評価

- 応募活動が気候変動対策にどのように貢献するのをご具体的に記入ください。
- 社会に対してどのような効果が期待でき、あるいは地域にどのように貢献したのか、また、今後の展開で期待される効果等について、評価した内容を具体的に記入ください。

<具体例> ※生物多様性保全やリサイクル活動が含まれる取組であっても、気候変動対策の取組が主体であることが分かるようにご記入ください。

開発・製品化部門	(緩和部門) この技術の開発によって生み出された製品により、CO ₂ 等の温室効果ガスが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。 (例: 従来機器比○%使用電力削減、CO ₂ を年間△ト>削減)
	(適応部門) この技術の開発によって生み出された製品により、気候変動によるリスクが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。 (例: 気候変動リスクの被害額○円低減、暑さ指数(WBGT)○℃低減)
先進導入・積極実践部門	(緩和部門) 対策技術の先進的な導入によって、導入から、いままでに温室効果ガスがどれだけ削減できたか。導入した技術・設備をどのように活用してきたか。 (例: CO ₂ 排出量○%削減、CO ₂ を年間△ト>削減)
	(適応部門) 適応技術や企業戦略の先進的な導入等によって、導入から、いままでに気候変動によるリスクがどれだけ削減できたか。導入した技術や企業戦略等をどのように活用実践してきたか。 (例: 気候変動リスクの被害額○円低減) (例: 気候変動を踏まえた安定的な原材料ルート○%確保)
普及・促進部門	(緩和部門) 具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域に貢献したか。また、その実績はどの程度か。 (例: △年にわたって、延べ○人が活動に参加し、△%の節電効果があり、×kgのCO ₂ 削減) (例: 学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。)
	(適応部門) 具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域等に貢献したか。その実績はどの程度か。また、気候変動の影響をどのように把握し、活動に生かしているのか。 (例: 学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。)

表彰の対象となる応募活動の今後の計画

- 今後どのように持続的に展開していく予定なのをご具体的に記入ください。

本表彰の公募をお知りになった媒体(複数回答可)に✓をつけ、その具体名をご記入ください。

- ウェブサイト (名称: _____) 環境省からの推薦依頼文書
 事務局からのチラシ 事務局からのメール 新聞・雑誌等 (名称: _____)
 その他 (_____)

参考資料の添付 ※A4サイズ10枚(両面20ページ分)以内に収めてください

- あり なし

備考